

一宮市男女共同参画推進懇話会会議録（概要）

会 議 名	第1回会議録
開 催 日 時	平成24年7月11日（水）14:00～15:55
開 催 場 所	尾西生涯学習センター 6階大ホール
出席委員氏名	岩田委員、岡西委員、岡野委員、榊原委員、小島委員、坂倉委員、佐々木委員、渋谷委員、富山委員、日置委員、水谷委員、森委員 計12名
欠席委員氏名	瀧委員、野村委員、松本委員 計3名
出席した市職員	企画部長、企画部次長、企画政策課長、同副主監1名、同主査2名、同主任1名、同主事1名、保育課副主監、子育て支援課副主監、学校教育課長、生涯学習課副主監、働く婦人の家館長、経済振興課副主監 計14名
会 議 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市民憲章唱和 2. あいさつ 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> ①副会長の選出 ②第2次一宮市男女共同参画計画（平成23年度実施状況報告）について 4. その他
会 議 内 容	
事務局（企画政策課長）	（資料の確認）
企画部次長	市民憲章唱和 （市民憲章唱和）
事務局（企画政策課長）	（防犯および交通安全一口広報紹介）
佐々木会長	あいさつ 本日は平成24年度第1回目の男女共同参画推進懇話会ですけれども、あいにくの雨模様の天気の中、皆様それぞれご多忙の中お集まりいただきありがとうございます。 先に私ども策定いたしました、第2次一宮市男女共同参画推

<p>事務局（企画部長）</p>	<p>進計画にもとづいて、市が中心となりまして男女共同参画の推進をしていただいているところですが、本日は平成23年度の結果などをお聞かせ願ひまして、委員の皆様方からご意見を賜っていきたくと考えておりますので、どうぞひとつよろしく願ひいたします。</p> <p>本日お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。一宮市も合併後7年経過し、だいぶん落ち着いてきたかという状況でございます。合併後に策定しました総合計画についてもこれでもなく5年経過するところで、最近見直しを進めているところでございます。</p> <p>今回ご審議いただく男女共同参画計画につきましても、第2次計画を22年度に策定していただきまして、それにしたがっていろいろな施策を進めているところでございます。今回は平成23年度報告でございますが、改善されたものも、芳しくないものもございしますが、全体的に改善の方向へ進めていきたいと考えております。</p> <p>若い職員の意識も大分進んできております。育児休業を取る男性職員もぼちぼち出てきておると聞いております。これも男女共同参画の一つの成果かと思っております。ワークライフバランスも、いろいろなところで講義していただいたりして、意識が変わってきているのではないかと考えております。</p> <p>この会もどのようにすすめていったらよいかなど、忌憚のないご意見を賜りたいと思ひますので、よろしくご議論の方、願ひいたします。</p>
<p>事務局（企画政策課長）</p>	<p>つづきまして、新委員のご紹介をさせていただきます。前回3月17日の懇話会以降に新しく委員になられました方は、ナンバー2、一宮市議会 企画総務委員会委員長の小島薫（こじまかおる）様、ナンバー7、大徳小学校長の水谷伊子（みずたによしこ）様、本日は欠席されていますが、ナンバー8、一宮市地域女性団体連絡会会計の野村緑（のむらみどり）様、ナンバー9、一宮市小中学校PTA連絡協議会副会長の岡野茂樹（おかのしげき）様、ナンバー10、岩満様となっておりますけれども、このたびの役員改選で、坂倉慶信（さかくらよしのぶ）様に代わられました。</p>

	<p>以上5名の方で、それぞれの就任日は名簿欄外に記載のとおりですので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、次第3に移り、議題に入らせていただきます。ここからの進行は、佐々木会長にお願いいたしますが、事務局からお願いが1点ございます。</p> <p>議題①についてですが、実はお辞めになった倉兼委員が副会長の職にありましたので、このたび新しい副会長の選出をお諮りしたく、会長に取り回しをお願いしたいと存じます。懇話会設置要綱第4条により、副会長は委員の互選によることとなっておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
佐々木会長	<p>それでは議題に入らせていただきますが、議題①は副会長の選出をとということになっております。今お話がありましたように、会長副会長いずれも委員の互選ということになっておりますけれども、どんな方法で選出させていただきますとよろしいでしょうか。何かご提案ございましたら…</p>
小島委員	<p>互選ということでございますけれども、各団体の代表の方が委員となっておられますから、今まで持ち回りでやってきたのかなど、そのあたりの経緯を事務局にお聞きしたい。</p>
事務局（企画政策課長）	<p>ローテーションということではございませんで、これまでの例でいきますと、会長の指名で決定しております。</p>
小島委員	<p>分かりました。</p>
佐々木会長	<p>そのほかご意見ございますか？</p> <p>それでは勝手ではございますけれども、会の進行上、会長に一任いただいたということで、進行させていただきたいと存じます。よろしいでしょうか。</p> <p>（異議なしの声）</p>
佐々木会長	<p>それでは、倉兼先生の代わりというわけではございませんけれども、大徳小学校校長の水谷先生に副会長をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>

	(拍手)
佐々木会長	それでは、水谷先生から一言ご挨拶をいただきまして、そのあと議題について進行させていただきたいと思います。
水谷副会長	(水谷委員あいさつ)
佐々木会長	皆様のお手元にお送りしてございますように、一宮市男女共同参画推進状況についてですけれども、6つの目標ごとに進めさせていただきたいと思います。それでは、事務局より報告を願います。
事務局（主事）	<平成23年度実績について資料に基づき説明(目標Ⅰ)(目標Ⅱ)>
佐々木会長	事務局から目標Ⅰ、Ⅱについて説明がありました。どちらでもけっこうですので、積極的にご発言をいただきたいと思います。
富山委員	4ページの事業番号11211(統計情報整備)、11231(資料の収集と提供)について、因果関係と、何に生かしたかが分かれば教えてください。
事務局（主任）	統計情報整備といたしましては、国県他市町村の男女共同参画計画や調査を収集し、調査研究に役立てています。次の、資料の収集と提供につきましては、当初、統計情報整備と併せて他の自治体の男女共同参画センター施設にある資料コーナーのようなものを設置することを想定していましたが、企画政策課内に設置し、市民に自由に閲覧していただくことは難しいため、現在は情報収集のみを行っており、市民の求めに応じて提供を実施しています。この11件とは内閣府から毎月発行されております「共同参画」について、市内4図書館に、市民が閲覧しやすいよう設置をお願いしたものです。
日置委員	14ページで、女性のネットワークづくりの推進ということで、一宮市の中にはたくさんの女性団体があると思うが、ネットワ

	<p>一くづくりということで、それぞれの女性団体で、交流会を自主的にやっているか、市の働きかけで年に1～2回など交流会のようなものを行っているでしょうか。</p>
生涯学習課	<p>一宮市地域女性団体連絡会というものが該当していると思います。この連絡会は、市内に連区単位で13団体あります。会議を開いて情報交換、資質向上のための研修会、見学会等を行っております。このような中で、各団体の交流を図っております。</p>
日置委員	<p>実際にはもっと団体があると思うんですけども、この13団体はどのように選ばれているのですか。</p>
生涯学習課	<p>この13団体というのは、市内連区が24連区あるんですけども、そのうち13団体が加入しているということになります。</p>
渋谷委員	<p>10ページですけども、女性職員、女性教員の管理職への登用促進ということで、今年、国が「働くなでしこ大作戦」（積極的な女性活用に取り組む「女性の活躍促進による経済活性化」行動計画）という女子サッカーのなでしこチームをイメージした施策を始めていて、できましたら、具体的に職員の管理職のポストが分かればということと、学校現場での管理職の状況など分かりましたら教えてください。</p>
学校教育課	<p>平成24年度は合計19名で、校長は8名、教頭は11名という状況であります。</p>
事務局（企画部次長）	<p>平成24年度は合計56名で、部長職は1名、次長職1名、課長職は18名、それ以外が副主監職ということになります。</p>
事務局（主任）	<p><平成23年度実績について資料に基づき説明(目標Ⅲ)></p>
富山委員	<p>20ページ以降、子育ての学習機会としてさまざまな講座があるが、このときに、同時に育児相談ができるコーナーなどもあるでしょうか。</p>
子育て支援課	<p>行事の際には相談コーナーは設けていないが、これらの行事</p>

	<p>を主催している子育て支援センターの機能として、子育て中の親子の交流や、相談という目的がありますので、日常の業務の中で相談を受け付けています。</p>
日置委員	<p>21 ページの育児講演会の件で、692 名の男女の内訳をお願いします。</p>
子育て支援課	<p>通常の育児講演会は男女の内訳をカウントしていますが、昨年度は市制 90 周年事業ということで大々的に催し、子育て中の父母だけでなく、広く一般の方の参加もございましたので、カウントせずに行いました。</p>
岡西委員	<p>幼児期家庭教育セミナーについて、こちらは全参加者数のうち、男性参加者のみの数でしょうか。全体の参加者数はどうだったでしょうか。これは大事な行事だと思うので、もし全体でこの数であれば、もっとPRしなければならないと思います。</p>
生涯学習課	<p>この掲載は男性の数のみです。この講座は前期後期の2回ございまして、それぞれ5回シリーズの講座です。そのうち1回ずつで父親参加を促進するような講座を設けました。全体では、前期で延べ144名、後期で延べ117名の参加がありました。1講座あたり多いときで約70名参加があります。</p>
岡西委員	<p>どんな内容の講座がありますか。</p>
生涯学習課	<p>前期は「つかもう。親らしさ自分らしさを」というテーマで行いました。小児科医による、子どもの成長と気になる症状の見かた・考えかた、親子で楽しめる人形劇、ヨガ、子育てライフが楽しくなるコミュニケーション術などを行いました。後期は「寄り添い、向き合い、ともに喜ぶ」というテーマで、子どもといっしょに絵本を楽しもう、子育てあんしん講座、楽しい手あそび・歌あそび、スクラップブック体験講座、以上のようなことを行いました。</p>
岡西委員	<p>ありがとうございます。このような講座はとてもよい講座だと思いますので、ぜひPRして、たくさんの方に参加していた</p>

<p>森委員</p>	<p>だきたいです。</p> <p>24 ページの男性が参加しやすい生活実践講座等の開催についてですが、高齢者の料理教室ということで、参加者延べ人数が大変多いですけれども、毎回参加者が同じでないかお聞きしたいです。男性も含めた料理教室は、男性女性と混合してやっていると思いますが、若い世代か、高齢者が多いか受講生の年代をお伺いしたいです。また、このような男性向け料理教室に参加して、家でも食事を作るようになったかなど、男女共同参画のきっかけになったかどうか、追跡されていたら知りたいです。</p>
<p>事務局（主査）</p>	<p>昨年度まで高年福祉課におりましたので回答させていただきます。8会場のうち、丹陽・浅井・大和・今伊勢・千秋の5地区につきましては、2年に一度という形で開催しております。市内に出張所が10箇所ありまして、5箇所ずつ隔年で行っております。なので、参加者は毎年違う方の申込みをいただいております。同じ方の受講ではありません。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>男性を対象とした料理講座は、地区公民館自主事業として、公民館のほうへ委託している事業です。23公民館のうち実施した公民館は2館です。年代は把握しておりませんが、内容としては、男性向けということで土曜日日曜日に開催しており、丹陽公民館で「ためになる男性の料理講座」として開催し、受講生は31名。大徳公民館では「お父さんと一緒に料理教室」として開催し、37名の受講者がありました。</p>
<p>働く婦人の家</p>	<p>料理教室は7講座開催しました。手こねパン教室は24名中、男性3名。韓国料理24名中、男性2名。薬膳料理24名中、男性3名。手打ちそば24名中、男性16名。パンを焼いてみようは男性の参加は0名。おもてなし料理24名中、男性2名。手作りパン24名中、男性1名という状況です。講座の内容によりまして男性の参加に差があり、手打ちそばは男性の参加が多かったです。年代については把握していません。</p>
<p>森委員</p>	<p>父親サークルづくりの促進というところで、以前に聞いたときはまだ父親サークルはないということでしたが、それ以降、</p>

子育て支援課	<p>父親サークルができそうな兆しはあるでしょうか。</p> <p>まだ父親サークルができるにはいたっておりません。</p>
森委員	<p>まだできていないということは、ここにある父親の子育てに関する記事がまだ効果が出ていないということか、他に原因があるかどのようにお考えですか。</p>
子育て支援課	<p>報告にもありましたように、父親がいろいろな行事に参加する場面は多く見るようになりました。今年度7月にありました育児講演会でも、たいへん多くの父親を見るようになりました。ただ、まだ母親と一緒に来るとい場合が多く、主体的にサークルを作ろうという意識までには至っていないというところがあります。引き続き情報提供等を進めて、そういう機運が高まれば、サークル立ち上げの支援をさせていただきたいと考えています。</p>
事務局（主任）	<p><平成 23 年度実績について資料に基づき説明(目標Ⅳ)></p>
榊原委員	<p>若者就職支援フェアの書きぶりですが、確認しましたところ、昨年度は局での行事が重なり対応できなかったということであり、今後かわりがないというわけではございませんので、もし要請があり、対応できましたら、説明会は開催できますので、誤解がないようお願いしたいです。</p>
経済振興課	<p>行事のタイミングで昨年は開催できなかったことは理解しており、書きぶりを訂正できず申し訳ありませんでした。</p>
岩田委員	<p>30、31 ページあたりで、名古屋市の待機児童は全国でも大変多いと聞いていて、一宮市はそれほどでもない聞いておりますが、現在の待機児童の状況と、昨年休日保育が話題になりましたが、私どもは 365 日稼働しておりますので、休日保育などが拡充すればいいと思っておりますが、今後についてはどのようになっていますか。</p>
保育課	<p>現在 2 園で行っている休日保育については、今年も状況によ</p>

富山委員	<p>って対応を検討する予定です。待機児童については一宮市は0人です。</p> <p>病後児保育について、今は1園しかないということですが、地理的にも車がない親は預けにくく大変なので、増やせないものでしょうか。また、病中児については今はどうなっていますか。</p>
保育課	<p>病後児保育は、定員は4名ですが、定員を超えて希望があるのでお断りしている、ということはほとんどない状況です。もちろん地域的なことで1園では十分ではないと考えているので、機会があれば拡充を探っております。</p> <p>病児保育については、医師の配置が必要になり、病後児保育に比べてもさらにハードルが高く、市内の医療機関との協力を模索しているところであります。</p>
渋谷委員	<p>26 ページ愛知県ファミリーフレンドリー企業の紹介とありますが、一宮市内で会社名がわかれば教えてほしいのと、岩田食品さんに、ファミリーフレンドリー企業に登録して何かよかったことを教えてください。</p>
経済振興課	<p>ファミリーフレンドリー企業の数は、一宮市内に26社あります。近隣市につきましては、稲沢市14、岩倉市3、犬山市8、江南市4、大口市5、扶桑町1となっております、愛知県全体では654社となっております。</p>
岩田委員	<p>私どもの会社はパートを含め女性の従業員が割りと多い会社でありますし、育児休業等整備していた関係もあって、ファミリーフレンドリー企業になった経緯があるのですが、登録されたことによって何かメリットがあったということは、正直あまり感じていないです。ただ、従業員の間には「うちの会社はファミリーフレンドリー企業なんだ」という雰囲気があるのは感じます。</p>
日置委員	<p>ファミリーフレンドリー企業に登録されていると、ロゴマークがあると思うんですけども、女子学生はそういうところに</p>

<p>岩田委員</p>	<p>関心がありますから、採用の場や、就職説明会などで、活用されると多少の利用価値があるのではないのでしょうか。</p> <p>マークを積極的に使ってはいないですけども、採用に関して、パンフレットなどで一部説明があるものですから、説明会では、女子学生から「御社は結婚後出産後も継続して働けますか」といった質問があることがよくあります。逆に私どもはそうは言っても辞められる方がいますので、かえって「定年までいてほしい」と答えるほどです。そういう意味ではファミリーフレンドリー企業であることで、応募の意志を高められるかもしれないと思います。</p>
<p>事務局（主任）</p>	<p><平成 23 年度実績について資料に基づき説明(目標 V)></p>
<p>渋谷委員</p>	<p>最近のニュースに関連しまして、居所不明児童・生徒について、一宮市ではいらないかどうか教えてください。</p>
<p>学校教育課</p>	<p>居所不明児童に関しましては、教育総務課が子どもたちの在籍を把握しているところですが、各学校を見渡すと、一年間行方が分からない児童はおります。主な原因としましては、聞くところによると、借金であるとか、暴力から逃れているなどです。受け入れ団体のほうで、DVの関係で住所を知られないようにしていることがあります。ただ、すべてをつかんでいるということではありません。</p>
<p>富山委員</p>	<p>昨今、男性介護者の問題があり、孤独に陥りやすく、悲惨な結末に陥りやすいと見聞きしています。男性の介護者へのアプローチは特別やっているのか、教えてください。</p>
<p>事務局（主査）</p>	<p>介護する男性を最近ではケアメンというようになっているほどですが、一宮市内の中で男性介護者数を把握はしていません。市では男性女性に関わらず、介護に関する相談窓口があります。高齢者の何でも相談窓口ということで、地域包括支援センターが市内に6箇所あります。専門的な業者に任せておまして、具体的には大雄会、千秋病院などです。介護に関する全般的な相談を受け付けています。</p>

<p>事務局（主任） 子育て支援課</p>	<p>また、32 ページにあります、家庭介護教室では介護している方どうしの交流会を開催しておりますし、その下の認知症介護家族支援に関しましても、認知症介護に限定されますが家族同士の交流の機会を設けています。</p> <p><平成 23 年度実績について資料に基づき説明(目標VI)></p>
<p>富山委員</p>	<p>DVの相談は、一宮市民が多いですか。他市町村民からの相談の場合は、連絡などはどうしていますか。</p>
<p>子育て支援課</p>	<p>ほとんど一宮市民です。他市町村の方もいるが、DV相談は現在地主義ということで、他市町村に帰して被害がひどくなるということがないよう、他市町村の方から相談を受けたら、一宮市民と同じように対応しています。</p>
<p>富山委員</p>	<p>渋谷先生にお尋ねしたいのですが、先日渋谷先生の男女共同参画セミナーを受けましたが、一宮市民の反応はいかがでしたか。また、これからどのようにするといいと思いますか。</p>
<p>渋谷委員</p>	<p>講師が伝えたいことをストレートに受け取って、自分に取り入れようと考えているという印象を持ちました。今後はいろいろな方向から情報発信をしてはどうかと思います。たとえば今お伺いしようと思っていたのですが、デートDVについてどうなっているかなど、DVの問題なども若い世代へのアプローチを進めてはいかがかと思いました。インターネット、ツイッターなどは、情報が速く広がるツールだと思います。今後も、ポスターやチラシや情報紙も踏まえて、若い世代向けのメッセージが一宮市では重要になるのではないかと思いました。先日の講座でも、夫婦でご参加の方がいて、男性でも男女共同参画について何かできるかといったご質問をされていたので、男性の意識も高まっていると実感しています。</p>
<p>岩田委員</p>	<p>DV相談や件数など、今話題のいじめ問題などもそうですが、顕在化して初めて認知されているものですが、DVが起こる前の啓蒙していくのか、情報を発信していくのか、どういった活</p>

<p>渋谷委員</p>	<p>動をしているのかお尋ねしたいのと、社内的にもコンプライアンスとって、パワハラやセクハラなど認知されているのですが、実際には相談に来ない部分はあると思っけていまして、DVやセクハラをするご本人が、DVだセクハラだと思っけてなくて行動すると思っけています。それに対し、どんな形で活動していくのがいいのか教えていただければと思っけています。</p> <p>参考になれば…名古屋市では、男性相談を始めました。月1回で始めましたが、失業問題や、職場の人間関係、妻との死別などさまざまな悩みが寄せられました。7月から月2回に増やすことになっています。</p> <p>ヨーロッパ、アメリカなどで加害者プログラムの研究も進んでいるので、加害の自覚がない、自覚があるけれど止められない加害者への対応、取り組みも今後お知らせできればと思っけています。</p> <p>会社内では相談できない部分もあると思っけてるので、こういった公の相談窓口を紹介していただければと思っけています。</p>
<p>岡西委員</p>	<p>いーぶんにDVを取り上げたのは、DVがどれだけ水面下にひそんでいるかと思っけて取り上げました。人間関係が希薄になってきて隣近所の人虐待やDVに気づかない。今までだったら、虐待もDVも近所の人気づいたのではないかと思っけています。ですから、啓発がすごく大切だと思っけています。隣が見える地域を作っていくことが大切じゃないかと思っけています。</p>
<p>佐々木会長</p>	<p>予定の時間も近づいてまいりましたので、このあたりにいたします。熱心にご討議いただきありがとうございます。事務局へお返しします。</p>
<p>事務局(企画政策課長)</p>	<p>ありがとうございます。皆様方からいただいたご意見は事業を行ううえでの参考にしたいと存じます。次回は3月を予定しております。どうかよろしく願っけていたします。</p> <p>会議終了 (15:55)</p>